

第37回（平成22年度）

岩谷科学技術研究助成候補者推薦要項

1. 助成の趣旨

エネルギー、環境に関する重要かつ独創的な研究開発に対して助成を行うことにより、科学技術の発展ならびに国民福祉の向上に寄与することを目的とします。

2. 助成の対象

(1) 助成課題

①新しいエネルギー源に関する研究開発

太陽エネルギー、風力エネルギー、波力・潮力エネルギー、地熱、バイオマス、非在来型化石燃料など

②新しい燃料に関する研究開発

水素、DME, GTL など

③エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化、それらのシステムに関する研究開発

太陽電池、燃料電池、二次電池、燃焼技術、廃熱回収システムなど

④エネルギー材料に関する研究開発

エネルギー貯蔵、変換、輸送、利用の高効率化に重要な役割を果たすと考えられる材料

⑤低温の利用に関する研究開発

液化ガスの利用、低温技術、食品・バイオ材料の貯蔵など

⑥環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性に関する研究開発

環境汚染防止対策、環境監視測定機器システム、クリーン化技術、地球温暖化防止対策、保全・防災機器システムなど

(2) 対象者

大学在籍者とし、個人またはグループ（代表研究者を明示のこと）で、上記の課題について現に研究開発に従事するか、又は、具体的に研究着手の段階にあり、研究開発の成果が2～3年以内に期待されるものとします。

3. 助成の内容

(1) 件数と助成金

総額3,600万円、総件数18件以内とします。1件当りの最高限度額は200万円です。

(2) 助成金の使途

研究目的を達成するために必要なものであれば、概ね自由としますが、校閲料、論文投稿料及び研究成果発表のための会議参加費などは合計で申請額の20%以内とします。又、助成金受領後その使途が変更されるときは財団の承認を要します。なお、応募者が所属する機関の間接経費、一般管理費（オーバーヘッド）については、原則としては認めませんのでご承知置き下さい。

(3) 助成金受領者の義務

助成金受領者は財団との間で覚書を交わし、これに基づいて研究を実施するものとし、研究完了時に研究報告書と収支報告書を提出していただきます。

4. 推薦方法

(1) 推薦者

国・公・私立大学の関連研究科長・学部長（または学長）とします。

(2) 推薦書

所定の様式に必要事項を記入し、財団宛4部（正1部、副（コピー）3部）を提出して下さい。 推薦書はホームページからダウンロードすることもできます。
申請研究テーマに関連のある研究論文の抜刷1編につき4部を添付して下さい。
なお、提出された推薦書及び添付資料は返却致しませんのでご承知置き下さい。

(3) 推薦件数

各大学とも、同一研究分野（部局）から2件以内とします。3件以上の推薦があった場合は全て失格とすることがあります。

(4) 推薦期間と締切日

推薦期間は、平成22年6月1日から7月31日までの2ヶ月間です。

締切日は、平成22年7月31日（当日必着）です。

5. 選考方法

下記委員からなる選考委員会により選考され、評議員会の承認を得て、理事長が決定します。

選 考 委 員

副委員長	藤森啓安	東北大学名誉教授
委 員	秋元 肇	(財)日本環境衛生センター 酸性雨研究センター所長
	池上 詢	京都大学名誉教授
	石田 愈	神奈川工科大学客員教授 東京工業大学名誉教授
	奥山雅則	大阪大学大学院基礎工学研究科 ナノサイエンスデザイン教育研究センター特任教授 大阪大学名誉教授
	北原 武	帝京平成大学教授 東京大学名誉教授
	古崎新太郎	東京大学名誉教授
	安井 至	(独)製品評価技術基盤機構 理事長 東京大学名誉教授
	渡辺公綱	(独)産業技術総合研究所 バイオメディシナル情報研究センター 研究技術統括 東京大学名誉教授

6. 選考結果の通知

選考結果は、平成22年11月下旬、推薦者及び候補者に対して文書により通知します。

7. 助成金の贈呈

助成金は、平成23年4月末～12月末の間に、分割により贈呈します。

8. 贈呈式

受領者に対する贈呈式は、平成23年3月7日（月）に行う予定です。

提出先・連絡先

財団法人 岩谷直治記念財団

住所 : 〒104-0032

東京都中央区八丁堀2-13-4 第三長岡ビル5階

電話 : 03-3552-9960

FAX : 03-3553-9961